(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0863

住 所 神奈川県 川崎市 川崎区 夜光 3丁目3番地3号

氏 名 日本食塩製造株式会社

印

代表取締役社長 熊谷 博

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

	- С П						, ,,e ,,,,,			
又	業 ^き は		D 名	名 称	口个艮垣表	造株式:	会社			
主力事	たる。 業 所	事 務 の	所 又 所 在	は 地	神奈川県 川	奈川県 川崎市 川崎区 夜光 3-3-3				
					☑ 規則第	4 条第	1 号該当事業者	ŕ		
					□ 規則第	4 条第	2 号該当事業者	ŕ		
該 :	当す	る 要	事 業	者 件	□ 規則第	4 条第	3号該当事業者	ŕ		
					□ 規則第	4 条第	4 号該当事業者	ŕ		
□ 上記以外の事業者(任意提出事業者)						者)				
主	た	る	事	業	大分類	E	製造業			
の		業		種		16	化学工業			
主の	た	る内	事	業容	塩製造業					
					☑ 原油換線	☑ 原油換算エネルギー使用量			5, 289	k l
事	業者	子 の	り規	模	□ 自動車	の台数				台
							起源の二酸化 D果ガスの排出			t -CO ₂
					扣水松盘	担当	前 署 名	製造部	部 保全管理チーム	
					担当部署	所	在 地	神奈月	県 崎市 崎区	夜光 3-3-3
連		絡		先		電話番	:号	044-2	88-2521	
]	FAX≹	番号	044-2	76-0475	
					メー	ールア	ドレス			
\• <i>z</i>						*	※事業者番	号		
※ 受						特	Ė			
攵						記	<u>.</u>			
欄						事	-			

計	画	期	間	平成22年度 ~ 24年度
	≦効果ガス えを図るた≀			別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
	※効果ガス なに向けた約			別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
削洞	☑効果ガス 対目標及び 誕出の量			別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
削洞		成する	ための	1. 空気圧縮機の使用量削減 2. 照明器具の高効率化 3. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 詳細は、指針様式第1号(第4、5面)のとおり
出の)者の温室)抑制等に る事項			
	の他地球温の貢献に付			1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加 2. 廃棄物の分別化を促進 3. 包材ロスの低減化を促進による廃棄物の低減 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
	備	考		

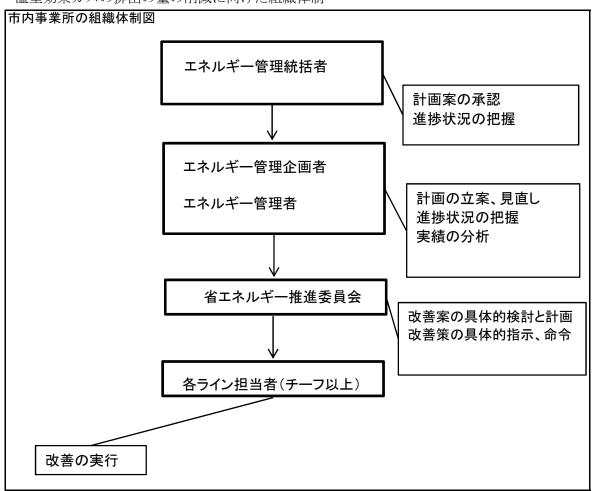
- 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

市内事業所の基本方針
製塩設備の運転改善を推進し製造原単位を向上させることにより、温室効果ガスの排出量を削減
する
, •

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



- 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等(第1号、第2号、第4号該当者等)
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基	準		年	度		平成 21	年度	目	標		年	度		平成	24	年度
基	準	排	出	量	(実)	9, 766 9, 269	t-CO ₂	目	標	排	出	量	(実)		9, 473	t-CO ₂
削		減		率	(実)	3. 0	%	削		減		量	(実)		293	t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

7 医甲折山里原甲山	4年2日保护田里原事位寺		
原単位の活動量		単 位	
基準年度の値		目標年度の値	
削 減 率	%		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する老え方

9	口你以近代	- 肉ックケル	/)					
			・管理指定工場		ているので、	条件を一本	化する為、	排出量
原 軍	位の値を年	1%以上削減了	する目標を設	定した。				

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標(全社目標)

年1%以上の排出量削減		

- 5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係るのは、	1. 空気圧縮機の使用量削減 2. 照明器具の高効率化 3. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 4. 省エネルギー推進委員会による管理体制の改善 5. 計画的省エネ化
室効果ガスの排出の量が 室効果があれば 一室が では では では では では では では では では では では では では	

(2)	再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績
ア	再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

	し前向きに検討する。	
油 III 生 土 ん ・十 III		
'배의'' '파 메니스 국 7 기미 때		-

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

1	生いとここけ ふりません	7 /L D + 1 /-			> 1/11 1 + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
Ι.	製造設備の運転乳	ミ件見胆 しに	.よるエネノ	レモーロ	り削減を実施

- 2. ガス使用量を常時監視及びグラフでのトレンド監視対象にしエネルギーの削減を目指す準備を

6		
	なし	
7	7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加	
	2. 廃棄物の分別化を促進 3. 包材ロスの低減化を促進による廃棄物の低減 4. グリーン購入の推進	

- 8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績
- (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	9, 766
(調)	9, 269

イ 第3号該当者等

(実)	+-00
(調)	$t co_2$

(2) 事業所等単位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルキー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本食塩製造株式会社	川崎市川崎区夜光3-3-3	1624	塩製造業	9 , 766 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
			3.7K 2 H 13	t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				$t\text{-}CO_2$

ウ 年間の原油換算エネルキー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 以上(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 未満(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

車業正粉	
事未 /// 数	